

総括質問

今定例会では、16人の議員が議案や市政を問う「総括質問」を行いました。詳しい質問内容は、会議録をご覧ください。

★質問者の文責により質問と答弁の要旨を掲載しています。



12月 定例会概要

11/28~12/21・会期24日間

11月28日 本会議(第1日)

- 決算認定議案などの表決
- 市長提出議案6案件の上程、提案説明、表決
- 市長提出議案の上程、提案説明
- 市長提出議案(追加議案)の上程、提案説明、表決

12月7日~12日 本会議(第2~5日)

- 総括質問
- 12月14日~17日 常任委員会
 - 14日 総務経済常任委員会 都市建設常任委員会
 - 17日 環境厚生常任委員会 教育民生常任委員会

12月21日 本会議(第6日)

- 市長提出議案の討論、表決
- 会議案の提出、提案説明、質疑、討論、表決

清風クラブ



市長に問う、三期目への挑戦「たしかな平塚を。」

佐藤 貴子 議員

市長は11月28日、来春の市長選挙に向けて、「たしかな平塚を。」と題した新たな方針を自身のホームページなどで示した。これにはどのような思いが込められているのか。

市長 少子化の進行や超高齢社会の急速な進展などにより、働き手や地域の担い手の減少、経済規模の縮小、税収の減少などの社会経済への影響が懸念され、社会資本や社会保障制度の持続、単身高齢世帯数の増加への対応など、さまざまな課題を乗り越えていかなくてはならない。このようなこれまで経験したことのない規模とスピードで縮小していくという変化が激しい時代に、安定した、確実な質の高いまちづくりを進め、将来に向けて魅力ある明るい平塚を次のステ...

ジへつないでいきたいという思いを込めている。

問 小児医療費助成の所得制限を撤廃するとしているが、そのメリットと費用の概算について伺う。

市長 所得制限を撤廃し、中学校3年生までの医療費を無料にする。このようなまちづくりを進めることで子育てに対する支援がよりできると考えた。支出は約8500万円増える見込みであるが、いろいろな形で社会保障費に使えるものを確保していきたい。

問 中学校における完全給食について、家庭からの弁当は教育的効果が高いという価値観を持つ人もいます。そのような人に、完全給食を進めていく、税金を投入することへの理解を深めてもらうために、どのようなことを考えているのか。

市長 今年度中に学校用地の取得が完了した場合、平成31年度中に工事費などの予算案を議会に提出する。その後、入札や契約などの手続きを進めていく。着工から完成まで約2年間を要するので、開校時期は33年度中、若しくは34年4月になるのではないかと考えている。

指定管理者制度

問 これまでの指定管理者の募集で、申請団体が1団体のみであった募集は何回あったのか。

企画政策部長 指定管理者制度を初めて導入した18年度から30年度までに行なった全57回の募集などのうち、公募を行った結果、1団体のみの応募となったものは21回、非公募により1団体

いる。

としたものは14回である。問 申請団体の競争が活発になることが必要と考えるが、見解を伺う。

企画政策部長 複数の応募があれば、より良い提案を選択することが可能となる。応募する事業者が施設に魅力を感じてもらえるような努力や、応募しやすい環境づくりをしなければならぬと考えている。

▼このほかの質問 期日前投票所の設置



市民満足度を高め確かなまち 市民意識調査から

野崎 審也 議員

居任意向について

問 若年層の居任意向が増加した要因を伺う。

副市長 平成28年度に策定した子育て支援の政策フレームに基づき、施策を推進してきたことや、シティブロモーションとしてPR動画やSNSなどで魅力を発信してきたことが、まちへの愛着や誇りの醸成につながってきたと考えている。

問 「活力とにぎわいのあるまちづくり」の分野は28、30年度とも市民の満足度は低い。産業振興分野の底上げが必要であると考...

議 長 ダ イ ア リ ー

平塚市議会議員 山原 栄一



議長の出席した主な会議などをお知らせします。(11月~1月)

- 11月1日 湘南地方市議会議長会議員研修会
- 11月14日~15日 全国市議会議長会研究フォーラム
- 11月24日 平塚市交通安全功労者表彰式
- 11月27日 新湘南国道並びに藤沢大磯線(湘南新道)新設改良促進協議会県への要望活動
- 12月1日 平塚市青少年健全育成表彰式
- 1月12日 平塚市消防出初式
- 1月14日 平塚市成人式
- 1月24日 秦野中井インター・平塚アクセス道路事業化促進協議会 県への要望活動

るが、見解を伺う。

副市長 他分野と比較すると満足度は低いですが、前回よりも上昇している。今後、新たに策定した産業振興計画2024に位置付けた施策を推進し、更なる活性化に取り組んでいく。

問 この計画は実効性のあるものになるのか。

産業振興部長 事業を精査しながら、必要な拡充や改良を加えて進めていく。

問 「商業の活性化と中心市街地のにぎわいづくり」の項目で満足度が低い。中心市街地活性化に向けた取り組みの進捗状況を伺う。

都市整備部長 現在、駅周辺地区活性化ビジョンをつくっている。また若手商業者を集め事業を検討してもらっており、5年間のロードマップづくりに取り組んでいる。市民主体のまちづくりが進むことで活性化につながると考えている。

問 「活力とにぎわいのあるまちづくり」の分野は28、30年度とも市民の満足度は低い。産業振興分野の底上げが必要であると考...

問 「交通の利便性の向上」の項目は満足度が低い。各地域の課題解決に向...

けた取り組みを伺う。

副市長 今年度、地域公共交通活性化協議会を開催し、路線バスの運行状況やバス停の配置状況を整理して課題について議論した。また、アンケート調査を実施し、路線バスの新設や再編、増便などを重要視する割合が高いことが把握できた。今後、地域公共交通網形成計画を早期に策定し、施策を実施していきたい。

満足度の高い分野

問 「消防・救急の体制整備」の項目は市民の重要度、満足度がともに高い。これをどう捉えているか。

副市長 市民の生命や身体、財産に直接関わる体制整備が、市民にとって重要で関心が高いという意識の表れと受け止めている。

市民意識調査の反映

問 市民意識調査の結果を総合計画へどのように反映させていくのか。

企画政策部長 調査の目的は、まちづくりの基礎資料を得ること、総合計画の

議場見学にどうぞ

本会議場を見学してみませんか。見学には事前に議会局へのお申し込みが必要です。議会開催期間などを除く開庁日に見学できます。

(問い合わせ 議会局 ☎21-8791)